

脳 神 経 内 科

1. 診療科の概要

脳神経内科学の取り扱う疾患は広範囲にわたり、中枢・末梢神経、筋、結合組織、代謝あるいは内科的基礎疾患に原因があって、神経・筋症状を呈する多彩な疾患を対象としている。また、近年の高齢者人口の増大により、認知症も含む高齢者に多くみられる神経変性疾患患者は著しく増加しており、将来の専攻科を問わず、神経内科学的知識の習得は必須であり、併せて神経内科専門医の果たす役割はますます重要になると思われる。当科では神経内科学の包括的な臨床に加え、神経薬理学、分子生物学及び臨床神経生理学の基礎的研究も積極的に行っている。

2. 臨床研修指導医

指導責任者：久原 真

指導医：鈴木 秀一郎、津田 玲子、岩原 直敏、池田 和奈、齋藤 太郎、横川 和樹、廣瀬文吾

3. 研修担当者

氏名：廣瀬文吾

連絡先：bungo1026@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：9時00分

集合場所：北7階病棟 スタッフステーション

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
＜ショック、体重減少・るい瘦、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、呼吸困難、便通異常（下痢・便秘）、腰・背部痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、終末期の症候＞
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
＜脳血管障害、認知症＞

6. 研修内容

外来・病棟において、脳神経内科的診察法、各種補助検査法の実際とその解釈、脳神経内科の主要疾患、病態について研修する。

(1) 回診とカンファレンス

- ・ 総回診と入退院カンファレンスをそれぞれ週1回行う。
- ・ 画像カンファレンス、脳波、症例検討会を週1回行う。
- ・ 入院／外来患者の電気生理カンファレンスを週1回行う。

(2) 研究会

- ・最新の医学雑誌の抄読会を週1回行う。

7. 研修医の主な業務

- ・上記のスケジュールで回診や検査に参加。
- ・現在、病棟診療は2つのチームに分かれており、そのどちらかに所属し、上級医の指導の元に診療に参加する。2つのチームで対象疾患は変わらず、どちらに所属しても研修内容に違いはない。自分の所属しているチームの患者さんについては、自分の直接の担当患者でない場合でも十分な把握が必要である。
- ・特に診断・治療の難しい症例については、クリニカルカンファレンスを行う中で、研修医がレジューム作成とプレゼンテーションを担当する場合もある。
- ・出産・育児や介護などで業務時間に事前に調整が必要な場合は上記の研修担当者に相談すること。

8. 研修スケジュール

| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|---|---|-----------------|--------------|------------------|----|----|---------------------------------|----|----|----|----|----|
| 月 | | チーム 回診 | 病棟 電気生理検査 | | | | 病棟 | | | | | |
| 火 | | 嚥下 造影・ 病棟 | | 電気生 理カン ファ | | 準備 | 新患紹介・総回診 画像脳波カンファレンス 症例検討 | | | | | |
| 水 | | チーム 回診 | 病棟 電気生理検査 | | | | 病棟 | | | | | |
| 木 | | チーム 回診 | 病棟 電気生理検査 | | | | 病棟 | | | | | |
| 金 | | 抄読会 | チーム 回診 | 病棟 電気生理検査 | | | | 病棟 | | | | |

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医機構基本領域専門医資格

- ・内科専門医

10. 研修協力施設

- ・たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
砂川市立病院、済生会小樽病院、俱知安厚生病院、王子総合病院、函館新都市病院